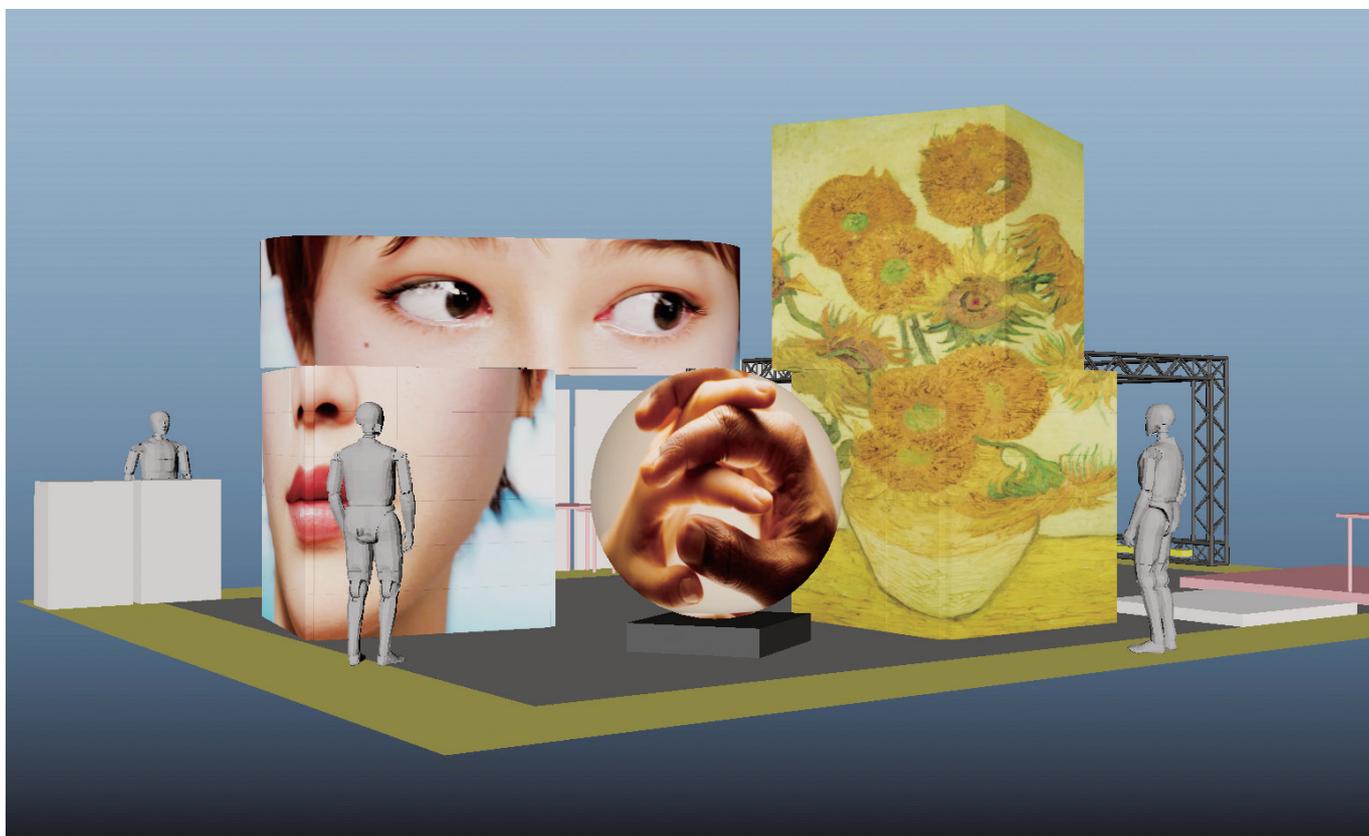


Beyond the Frame - 映像体験を“超”拡張する -

映像展示演出の高度化

高精細映像とLEDの立体的パネル構成に、最新のマッピングやセンサー技術を組み合わせ、映像展示演出を高度にプロトタイピングします。



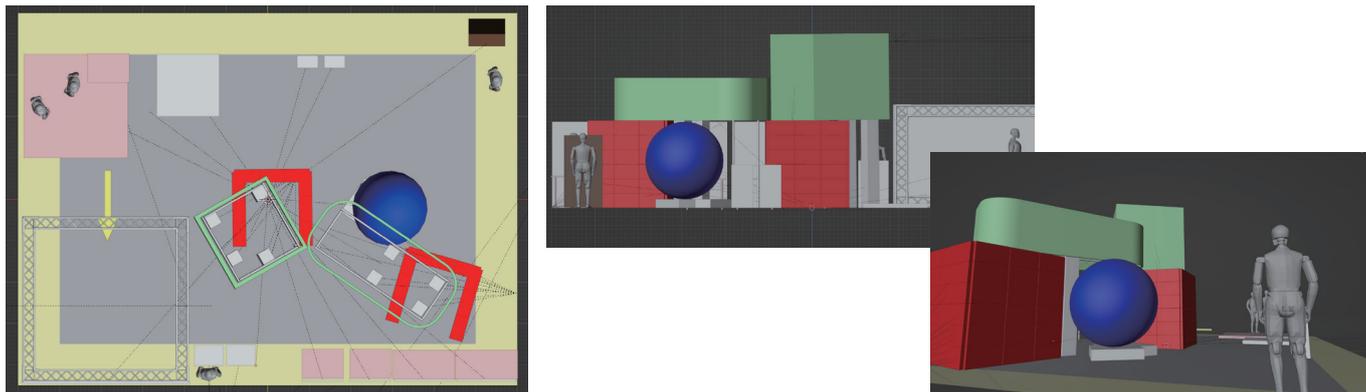
イメージパース

最新メディアテクノロジーを活用した映像展示のプロトタイプ

従来の展示会や見本市において、映像とディスプレイ、それぞれは技術の進歩によって高精細かつリッチなものになっている一方、ディスプレイは単純に映像を表示するためのデバイスとしての機能しか果たせず、会場の来場者に対して映像コンテンツの魅力をも十分に体感させることが難しいという課題がありました。

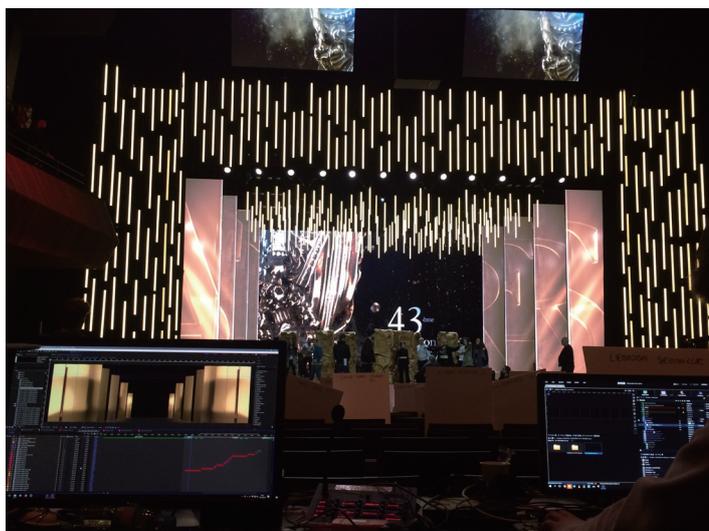
こうした課題に対し、NHKエンタープライズは、Inter BEE 2023において、NHKテクノロジーズと合同出展し、その展示ブースにおいて、いままでにない新しい映像展示のありかたをプロトタイピングします。

マルチソースをリアルタイムに総合制御



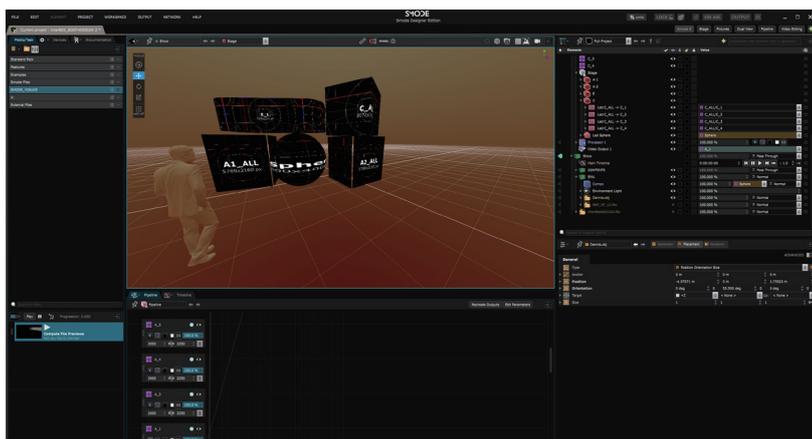
今回の展示ブースでは、定型的なアスペクト比(16:9型)のディスプレイを用いる手法とは異なる新たな映像展示演出をほどこしています。映像提示は、LEDパネルをくみあわせて、キューブ型、球体、曲面など、複数の特殊な形状で高精細かつ立体的に構成します。また、ユーザーインターフェイスとしてコントローラーを使用し、リアルタイムでインタラクティブな映像演出を行うことで没入感を高めます。

こうした複雑な展示を演出の制御には、専用のアプリケーション、SMODE* を用いています。これにより、プロジェクションマッピングやLEDパネルの制御をタイムラインベースのGUIで直観的に行い、リアルタイムでコンテンツの生成および変更することができます。また、こうしたシステムによりイベント展示における廃材の削減も期待できます。本展示では、LEDビジョン、プロジェクター、照明など、さまざまな要素を統合的に制御し、情報に応じて映像を変化させ、ビジュアル体験をオーディエンスに一体化させる仕組みをスケーラブルに実現するしくみもプロトタイプングしています。小さな展示会やメディアアート製作、巨大なスタジアム規模のコンサート、映画・CM・放送番組のスタジオ制作など、さまざまな規模のプロジェクトでも応用可能な革新的な手法です。



SMODE 使用例 映像・照明などのマルチソースをリアルタイムで統合制御

©SMODE JAPAN



シミュレーションにより展示イメージを即座にプレビス

※SMODE

従来のCADや静止画パースを用いたデザインワークフローでは、動画をブース内で上映した際にどう見えるかというところまでシミュレーションすることは困難でした。

SMODEを使ったワークフローでは、上映する映像のタイムライン作成からプレビューライズ、現場での上映までをすべて同一アプリケーション内で行うことができます。これにより、ワークフローの短縮、イメージの共有がとても容易になります。プレビューライズに使用したプロジェクトをそのまま現場に設置したディスプレイに接続し、イメージ通りの上映も可能です。